

北浦定政 古代史家。平城京と奈良制を研究し、初めて平城京の復原図を作成、のちの奈良文化財研究所の礎。

きたうらさだまさ

杉田玄白没・1817 = 大和国添上郡古市村で、藤堂氏の城奉行所出入りの掛け屋で武士扱い町人北浦政俊の長男に生まれる。

水野忠成老中1818 = 1歳：

裕福で代々学問好きの家系という恵まれた環境に育ち、

・ ・ ・ ・ ・ 1826 = **9歳**：

鼠小僧磔・ ・ 1832 = 15歳：父が早世したため、家督を相続し、

奉行所で会計の仕事をするかたわら、学問に励み、

滑稽+人情本 1835 = **18歳**：

大塩平八郎乱1837 = 20歳：

適塾オープン・ 1838 = 21歳：近江の富田泰洲に入門、算学・和歌・絵画を習うとともに、大きな影響を受けるも、

勸進帳初演・ 1840 = 23歳：泰洲が死去したため、国学者本居内遠に師事、

さらに、伊丹の中村良臣・伊勢の斎藤拙堂・奈良の荒川重郷らにも、**国学・儒学を学ぶうち**、

天保改革終・ 1844 = **27歳**：

阿部正弘首座1845 = 28歳：

尊皇思想の影響も受けて、荒廃したままの天皇陵が気になり始め、休日を利用して、調査・研究し、

・ ・ ・ ・ ・ 1848 = 31歳：***40年前に蒲生君平が著した「山陵志」を補正して、陵墓研究成果「打墨縄」を著す。**

続いて、平城京と奈良制の研究を進め、くまなく踏査して正確な地形図を作成した上、

万次郎帰国・ 1852 = 35歳：***初の平城京復原図となる「平城京内裏坪割之図」を作成。**

ペリー来航・ 1853 = **36歳**：

安政大地震・ 1855 = 38歳：***幕府が天皇陵の調査と修理を命じた際には、貢献大と奈良奉行から白銀一枚を下賜される。**

実地記録ノート「松の落葉」をもとに、「大和国坪割之図」「大和国古班田坪割略図解」も作成し、

あわせて、大和国の地名を研究し、「大和国地名抜書」「大和名所抜書」を著す。

桜田門外変・ 1860 = 43歳：

生麦事件・ ・ 1862 = **45歳**：

8月18日政変 1863 = 46歳：***大和国の津藩領内の三陵の修復の功などで、一人で藩主に礼できる「独礼格」の藩士と取立てられるが、**

明治維新・ ・ 1868 = 51歳：郡奉行代として領内を査察中、**中風を発し、**

廃藩置県・ ・ 1871 = **54歳**：中風を再発して、**没した。**

「人づくり風土記(奈良)」、